

会 議 録

1 会議名

第9回上越市地域協議会検証会議

2 議題（公開・非公開の別）

（1） 検証結果報告書の内容確認及び確定（公開）

3 開催日時

平成27年1月27日（火） 午前8時55分から午前9時27分まで

4 開催場所

上越市役所 402会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 山崎 仁朗、宗野 隆俊、牧田 実、加藤 義浩

・事務局： 笹川自治・市民環境部長、自治・地域振興課：塚田課長、小林副課長、大島係長、石崎主任

8 発言の内容

【塚田課長】

ただいまから第9回上越市地域協議会検証会議を開会いたします。本日はご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議は最終の会議というふうに予定しております。検証結果を取りまとめていただきましたものを、冊子としてご用意しております。本日は、その内容を確定していただきまして、会議終了後、市長に提出していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、設置要綱の第5条第1項の規定に基づきまして、この後は山崎座長に会の進行をしていただきたいと思います。よろしく願いします。

【山崎座長】

それでは次第に沿いまして議事に入らせていただきます。今ありましたように、この会議の後に市長へ報告書提出ということもありますので、会議自体は30分程度で終わらせたいと思

います。どうぞご協力のほどをよろしくお願いいたします。

事務局から検証結果報告書を用意していただきましたのでご覧ください。委員の皆さんには本当に限られた時間の中でご協力いただき、どうもありがとうございました。こうやって一つにまとめてみると、ちょっと感慨深いものがあります。

まず「はじめに」のところをご覧ください。改めて確認をいたしますと、特に3段落の「検証に際しては」いうところです。この「諮問のあり方」、「委員の選任方法」、「委員への応募者の増加策」、「地域活動支援事業のあり方」については昨年度議論し、今年度はその次の①から⑩までを議論したということになるかなと思います。

この中で特に⑨「地域協議会と各種の市民・住民団体との関係」、⑩の「地域協議会の機能を強化するための諸施策」、⑪の「地域協議会と市議会との関係」の三点については、我々が昨年度審議した中で、改めてこれも議論しておいた方が良さだろうということで付け加えた議論になります。以上を反映したものが、次ページの「目次」という形になっております。

もう個別の内容については繰り返す必要はないかなと思いますので、どんなことでも構いません、多少感想めいたことでもいいのかなと思うのですが、委員の皆さんから何かありましたらご発言いただければと思います。いかがでしょうか。

【宗野副座長】

これはもう委員の間で何度も何度も議論していたことなのですが、地域協議会の役割が法律とか条例の上では市長の諮問機関という位置付けなので、地域協議会に期待されている一義的な役割としては、地域自治区内のいろいろな意見を一本化して、市長に対して答申を行ったり、自主的審議の結果を届けるという意見の一本化が、一つ重要なことだと思うのですが、我々4人の議論、あるいは地域協議会の会長、副会長との議論の中で、どうも意見の一本化だけではないんだなということが分かってきたような気がします。

20万人の人口がありますし、いろいろな意見があると思うのですが、その多様な意見が表出することにより、必ずしもまとまらないこともあると思うのです。一つの施策に関して、年代とか性別とか、それによってずいぶん見方が違うんだなというのがありまして、それを表出するのが、地域協議会の非常に大きな役割なのかなという気がしました。これは市にとっても非常に重要な政策情報になる。つまりはこういう市の施策に対してどういう見方がある、地域はこういうふうを受け止めているということも、市にとって非常に分かりやすい。地域協議会ではそういうことを表出する役割があるのかなと思いました。

あと、これはそういう意見の表出機能を、どのように高めていくかというときに、地域協議

会はそのプロではありませんので、コーディネートをいかにやっていくのかということが、次の大きな課題なのかなと思います。これは今回の検証会議でも触れたのですが、さらにこれから10年、15年の中で上越市が出合っていく課題なのかなと思います。

あともう一つ、地域協議会で出てきたいろいろな意見であるとか、地域協議会から市長に対して答申したことを、市長だけではなくて、市全体でもっと政策情報として活用する在り方というの也被えられる。もう少し具体的に言うと、議会と地域協議会がどういふふうに関わっていくかということなんですけれども、そういったことが今回の検証会議で非常に重要な論点だったかと思ひます。これは自画自賛になるんですけれども、非常に画期的な議論になったのではないかと私は思っています。以上です。

【山崎座長】

今、宗野副座長から適切に我々の声を代弁していただいたかと思ひます。ちょっと付け加えますと、一点目は宗野副座長がおっしゃった意見表出という話です。これについては、一番それを端的に書いてあるのは、2-1-5「意見提出のあり方」というところなんです。そういうことが検証会議の議論の中、あるいは地域協議会の委員の皆さん、あるいは市民の皆さんの声の中から浮かび上がってきたという話もありました。つまり地域協議会の役割というのは、議会とは違って、最終的な意思決定機関ではないわけですね。だから厚生産業会館のことであるとか、クリーンセンターのことであるとか、ああいうかなり大きな問題に対して、地域協議会が一本化して意思決定まで求められるというのはどうなんだろうということがあったと思ひます。もちろんそれはまともれば結構なことなんです。ただ、そういうこと以上に、いろいろな人の意見というものを出していく場である、それが28あるということの意義や、その声を議会にどう反映させるのかということが重要なこととして見えてきたのかなと思ひています。

そういうふうにも多様な意見を出していくということになると、それなりの技術が必要になってくるわけで、その技術を高めるためには、委員の皆さんの学習をサポートするような在り方がもっと考えられると思ひます。この間の議論の中で、中間支援組織という、地域協議会を何らかの形でサポートするもの、もちろん行政の方もサポートしているわけなんですけれども、第三者的な組織、仕組みというのをどう作っていくのかというのが課題になったのかなというふうにも思ひます。

【牧田委員】

これをまとめた感想なのなんですけれども、タイトルに「活性化」とあり、活性化に向けた検証結果ということですね。これはやはり地域協議会というものが地域代表機関であり、それをい

かに実質化できるかということに向けての検討だったのかなというふうに受け止めています。

そうなっていますと、条例で書かれている市長の諮問機関であるという規定を、ある程度超えていくような部分も出てきましたが、もともと制度としてかつちりあるものを、どうにかしていけるのかというような視点で、割と踏み込んだ検証ができたのではないかとこのように思っています。その検証を進めていけば、当然行政との関係をどう考えていくのかという話になりますし、地域の代表ということであれば、町内会長連絡協議会や住民組織、それから既成の様々な団体との関わり方も実質化していったら、意見を吸い上げ、まとめられるものはまとめて、一本化して意見を出していくということにつながる。それが実質化ですし、活性化につながるのだらうと思います。

それから、議会との関係も当然問題になってきます。選挙区も全市で一つになって、かなり議員の数も減っている中で、やはり身近な地域の事について一番よく分かっているであろう地域協議会の声を、いかに吸い上げて取り入れるのかということが、これは制度的に言えば非常に難しい問題をはらんでいて、実現できないと捉えられることもあろうかと思うのですけれども、そこをうまく工夫できないかということです。今回の検証の結果では、市議会が自ら受け止めて、そういう機会を提供していくというような方向ならば、可能なのではないかとこのことが私たちの結論だったと思います。

そういった全体を踏まえて、行政や市議会、そして住民も、何か地域協議会に対する見方をさらにもう一歩深めるという形でいかしていただけたら、非常にありがたいなというふうに思っています。

【山崎座長】

そうですね、地域協議会というのは、対行政、議会もありますけれども、地域の中の多様な団体との関係、あるいはもっと言うと個人との関係についても、当然考えていかななくてはいけないと思います。

この報告書の中でも触れていますが、地域協議会の果たすべき役割とか意義というもの。前から言われている、屋上屋ではない固有の役割というものはっきりさせることが大事だということにもつながるわけで、その辺のことはある程度は明確化できたのではないかなというふうに思っています。

あと、今回のポイントの一つとしては、今年度2回、市議会総務常任委員の皆さんと意見交換できたということは非常に有益だったかと思っています。私が印象的だったのは、議員の皆さんが、地域協議会の権限の充実であるとか、そういう制度的にも保障していくということについ

て、非常に前向きだったということが印象に残ってますし、ありがたいなと思っています。ですから、制度的にも保障していくということを、是非市議会の皆さんに積極的に受け止めていただいて、ご提案いただければと思っています。

【加藤委員】

地域協議会検証会議という名前にあるとおり、地域協議会をいかに活性化していくかということも議論してきたわけですが、大事なことは、上越市の地域自治というまちづくりの仕組みを考えていく中で、地域協議会という一つのパーツがあるんだということです。上越市としてどう地域自治を実現するか、それに対して地域協議会をどう活用していくか、そういう視点がきちんとあった上で取り組んでいかないと、委員の増加をどうしたらいいかとか、認知度をどうやって上げていくかという、個々の話だけになりかねないかなというふうに思います。

私たちの議論の中では、それに取り組んでいくためには、実際に活動をしていかないといけないし、活動が活性化していけば、結果として認知度も委員の増加も実現できるのではないかなという議論をしてきたかと思います。そういった一つひとつの地道な取組が、将来的にどういう形に進んでいくかというところを、広く考えておく必要があると思っています。

地域協議会の目をいかに地域の方に向けていくか、協働の要という言葉もあったかと思いますが、そういう役割として自らを認識していくことが、取組の中でスタートになるのかなと思います。

【山崎座長】

今、地域協議会というパーツがあり、手段がある。これをどう実質化していくかということが大事だというご指摘で、まさにそのとおりだと思います。

私たちは、上越だけではなくて、他市で一般制度の地域自治区を導入しているところも少しずつ見ておりますが、私ども上越市を題材にした「地域自治の最前線」という本を出させていただきましたけれども、やっぱり上越にはその先頭に立って走っていただきたいという思いがあります。なにせ地域自治という考え方自体がまだ、ようやく根付き始めた段階ですし、どこも試行錯誤です。これをどう各地域の事情に合わせて、具体的な形にしていくかということが問われているんだろうなと思います。そういう意味でも、是非上越市には、今回の報告書を少しでも役立てていただいて、より根付く方向で活用していただければと希望しているところです。

今、皆さんに言っていただいたことに尽きるかなと思いますので、私からは特にありません。ありがとうございます。

事務局に確認なんですけれども、今後この報告書はどのような形で市民の皆さん、地域協議会委員の皆さんにお伝えいただくことになるのでしょうか。

【塚田課長】

地域協議会の会長方とは、意見交換という場を2回ほど持たせていただきましたけれども、今度は全委員を対象にして、この検証結果をご報告する場が必要だろうと思っていて、できれば先生方のご協力をいただいて、そういう場を設けたいと思っております。

それから、提言の中には制度の改善もありまして、中には条例改正まで影響するものもあります。そういうものについて検討を進めていって、もし必要であれば改正するものもあると思いますし、諮問答申の在り方とか、委員の心構えとか、そういったところも検証いただきましたので、そういうものを取りまとめた形で、地域協議会の皆さんにお配りするハンドブックみたいなものを作って、次の改選の前には活用する形でいきたいと思っております。

ただ、最後の5番にあります議会との関係は、議会に向けた提言という格好になっておりますが、現行の制度、体系の中でどう取り込んでいくのかというところが、先が見えないところで、そこが残された課題なのかなと思っているところです。

【山崎座長】

最後の点については、まずは議会の方に受け止めていただいて、検討していただくのかなと思います。機会があればまた意見交換をやらせていただくというのものもあるかなと思います。

あと、ハンドブックを作られるということについて、議論として出てきたのは、特に新しく委員になられた方の最初のオリエンテーションのところで、そもそも地域協議会って何なのかとか、何をやるのかということについて、導入をもうちょっと丁寧にやるといいかなということでした。そういうときに簡略化された手引きみたいなものが用意されて、それを基にオリエンテーションがなされると良いというのがあったかなと思います。

ところで、報告書は委員の皆さんに配られるのでしょうか。

【塚田課長】

報告の場を設ける予定ですので、お配りする予定でおります。また、ホームページでも公開します。

【山崎座長】

私たちがせっかくまとめたものですから、是非広く活用していただけるとありがたいと思います。

【宗野副座長】

先ほど加藤委員が非常にいいことをおっしゃったんですけれども、上越市の地域自治という大きな絵があって、地域協議会というのはその中の一つのパーツであり、地域協議会が全てじゃないということは、非常に大事なところだと思います。議会との関係をどうするのかというのを考えただけでも、例えばこの検証会議というのは、市長に対して検証結果を報告するもので、議会に対してこれを直接提言するという位置付けではないわけですね。ただ、地域自治という大きな絵の中で考えたときに、議会もこういった内容を受け止めていただいて、上越市全体で地域自治を考えると、議会は地域協議会とどういうふうに連携するべきだとか、そういう議論というのが本当はすぐに出てくるべきかなというふうに思いますね。

我々が地域協議会を議論する中で、地域自治全体について考えるような内容にはなったと思うんですけれども、さらにこれを実質化する上で、いろんな手法、例えばさっきのコーディネーターをどうするのかとか、活性化をどうするのかとか、そういった細かい議論にもつながっていくと思いますので、地域協議会だけの議論に終わらせないようにすることが大事かなというふうに思いました。

【山崎座長】

終わらせないことも大事ですし、議論の中で終わらないということははっきりしたということですね。地域協議会単体の問題ではなくて、地域自治全体の話という文脈で考えないといけないということですね。

【笹川部長】

一つ私の方からよろしいですか。2年間先生方には大変精力的に検証をいただきましてありがとうございました。

今回の報告書のタイトルで、地域協議会の一層の活性化に向けたということで出てきていますが、先ほど地域自治の話もございましたけれども、いかに地域を元気付けるかというふうなところもやっぱり重要な話なのかなと。地域の課題にどう向き合うか、将来に向けてどうまとめ上げていくかということが重要なのかなと思います。そういう意味で今回提言いただきましたものを土台にしながら、私どもなりの地域自治を進めていかなくてはいけないのかなと思っています。

一つ確認なんですけれども、議会との関係を述べている5番目の部分について、中身は変えないのですけれども、例えば「参考に」という形にはならないものなのかなと確認だけさせていただきます。

【山崎座長】

その最後の点からいきましょうか。ここは我々の間でも議論いたしまして、地域協議会というのは地域自治の中の一つのパーツであるということを議論していくと、地域協議会だけの話に収まらない。当然議会とのことも考えなくちゃいけないし、先ほどから出ているコーディネーターによる補完とか、サポートということも出てこざるを得ないので、そこは何か別物というよりは、やはり関連するものという考え方があるかなと思うんです。ただ、やっぱり対議会ということになりますと、一応項目としては別ですから、以前の案ではそれぞれの項目の中に議会のことも入っていたのですが、議会関連のことは5番目の項目に集約したので、このような形で受け止めていただけるとありがたいかなというふうには思っております。

なお、今回の報告書は私たちが基本的に作ったもので、行政の下案というものは一切ありませんので、そここのところはぜひ強調しておきたいなというふうには思っております。

一番重要なのは、やはりいろいろな地域課題を、市民の皆さんが自らのこととして受け止めて考えること。人口減少の中で、牧区をどうする、安塚区をどうするというふうには、実際に考えておられます。そういう場を提供している地域協議会が、その中心になり議論をしていくことがやはり重要なことかなと思うのです。最近よく使われる用語でいうと、熟議とか討議民主主義とか言われるわけですが、そういう中身を充実させていくための中心的な仕組みとして地域協議会があるのかなと思うので、そこは非常に大事なポイントと思います。

もちろん行政の方が日々施策をまとめておられて、どうやって人口減少なり産業振興なりについて向き合っていくのかというのは考えておられるわけですが、これからは行政だけがまちづくりの担い手ではないと、市民、行政一体となってということがよく言われるわけで、市民の皆さんが地域の諸課題を自ら議論していく場として、これからも地域協議会が力を伸ばして行っていただければなと思いました。

あとよろしいでしょうか。ではこれで検証結果報告書を確定としたいのですが、改めて委員の皆さんよろしいですね。

(よしの声)

はい、ありがとうございます。それではこの検証会議の検証結果の報告といたしまして、この報告書を市長に提出したいと思います。

これで議事は終わりとなりますが、もし事務局から何かありましたら、いかがでしょうか。

【塚田課長】

本当に皆様方からは、昨年から約2年に渡りまして、9回にも及ぶ検証会議で、熱心にご意見をいただきまして、本日ようやく検証結果報告書が取りまとまったというところでございま

す。この間のご協力ありがとうございました。

いただきました報告書につきましては、これからの地域協議会の運営改善、資質の向上等に役立てるように、精一杯活用を図っていきたいと思っておりますので、またその際にはいろいろとアドバイスをお願いするかもしれませんが、引き続きのご協力をお願いしたいと思っております。

それでは、この後、9時30分から市長へ検証結果報告書の提出ということになりますので、よろしく申し上げます。私からは以上でございます。ありがとうございました。

【山崎座長】

ありがとうございました。

【塚田課長】

それでは以上をもちまして、第9回の検証会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課自治推進係

TEL : 025-526-5111 (内線 1429)

E-mail : jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。